



2018.04.18 News ニセコ倶知安にロス・フィンドレー氏を再訪

約束なしの訪問に、裏山で作業していた氏は、快く、作業を切り上げ、オフィスに戻ってくれた。前回訪れてから2年近く経つ。<http://u0u0.net/Pgfl>

変わらず精悍な風貌、体力を維持する生粋のアウトドアマンだが、しょっちゅう、要請で霞が関に出かける。

いろいろな部署から声がかかるようだが、基本的に、よそ者若者の目で再点検しようという考

えと通じるこの現象を、きちっと分析して、社会に還元したらよいと思う。



ロス・フィンドレー氏が経営するNACニセコアドベンチャーセンター。アドベンチャーパークを開き、通年、リクリエーションの場を提供する。

正面に羊蹄山、背後にニセコ・アンヌプリを臨む絶好のロケーション。春と秋に訪問が少ないのが北海道リゾー

ト地に共通する悩みという。

外国人受け入れに向けて、観光学を教える大学とか、タウンプランニングの教科の必要性を指摘する。訪日外国人の誘致には、インタナショナル・マーケティングが必要という。氏は、シドニーではスポーツ学を学んで卒業したというが、冷静な状況判断と的確な問題認識は、なにから学べばよいのだろうか。

ニセコ、倶知安には、世界を見てきたレベルの高い見識をもつ外国人が好んで居住していると話してくれた。不動産の爆買いを憂慮する声もある一方、外国人というくくりで十羽ひと絡げはできない。今回は、高い見識の外国人たちとの対話の機会を狙いたい。